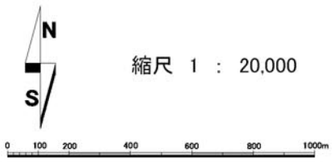
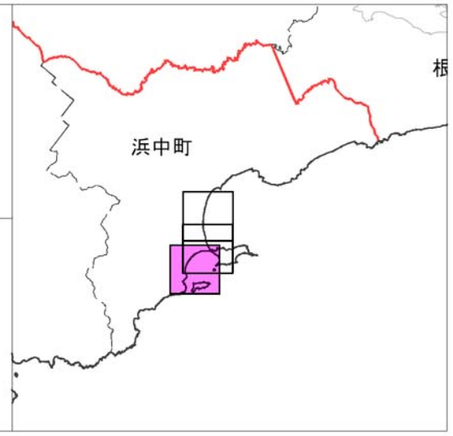
津波浸水予測図 詳細地区別　浜中町 （1／3）

凡　　例

津波浸水予測範囲
（2つの想定津波の最大浸水範囲）

- 1m未満
- 1m以上　2.0m未満
- 2m以上





各地で予測される最大遡上高・影響開始時間

地　区　名
十勝沖・釧路沖の地震津波の最大遡上高（影響開始時間）
根室沖・釧路沖の地震津波の最大遡上高（影響開始時間）

■下記の2つの津波を想定津波とし、それぞれの津波ごとに、構造物が
　「効果あり」・「効果なし」の2パターンのシミュレーションを行ないました。（全4ケース）
■この図には、全4ケースのうち、最大の浸水範囲、浸水深(注１)を表示しています。
■また2つの想定津波ごとに、代表する地点周辺の最大遡上高（注１）と
　影響開始時間（注２）を表示しています。
■地震の震源が想定より陸地に近かったり、想定を超える津波が来襲するなど、
　条件が異なる場合には、ここで示した時間より早く津波が来襲したり、
　遡上高が高くなったり、浸水範囲以外でも浸水する可能性があります。

［シミュレーション条件］
（１）想定津波
　　十勝沖・釧路沖の地震津波　　根室沖・釧路沖の地震津波
（２）構造物
　　効果あり　：　防波堤、海岸堤防、防潮堤、河川堤防などの施設が、
　　全て有効に機能したケース。
　　効果なし　：　防波堤、海岸堤防、防潮堤、河川堤防など
　　施設の機能が失われたと想定したケース。
（３）潮　　位　：　朔望平均満潮位　（各月の最高満潮面を平均した潮位）

※注１　最大遡上高と浸水深（図１参照）
　最大遡上高は、各地区で津波が到達する最高の標高とします。
　浸水深は、各地の地表面からの水面の高さです。
※注２　影響開始時間と津波到達時間（図２参照）
　影響開始時間は、地震発生から、海岸・海中の人命に影響が出る恐れのある津波による水位変化
　(初期水位から水位変化が±20cm)が生じるまでの時間です。
　津波到達時間は、地震発生から、津波第一波のピークが海岸に到達するまでの時間です。

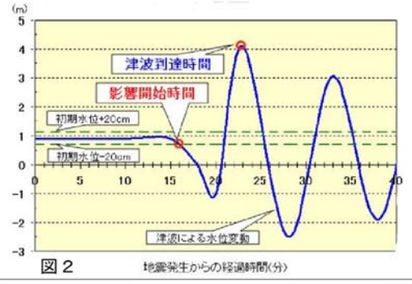


図２

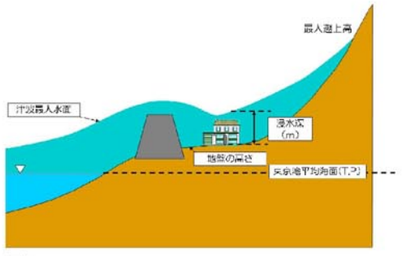
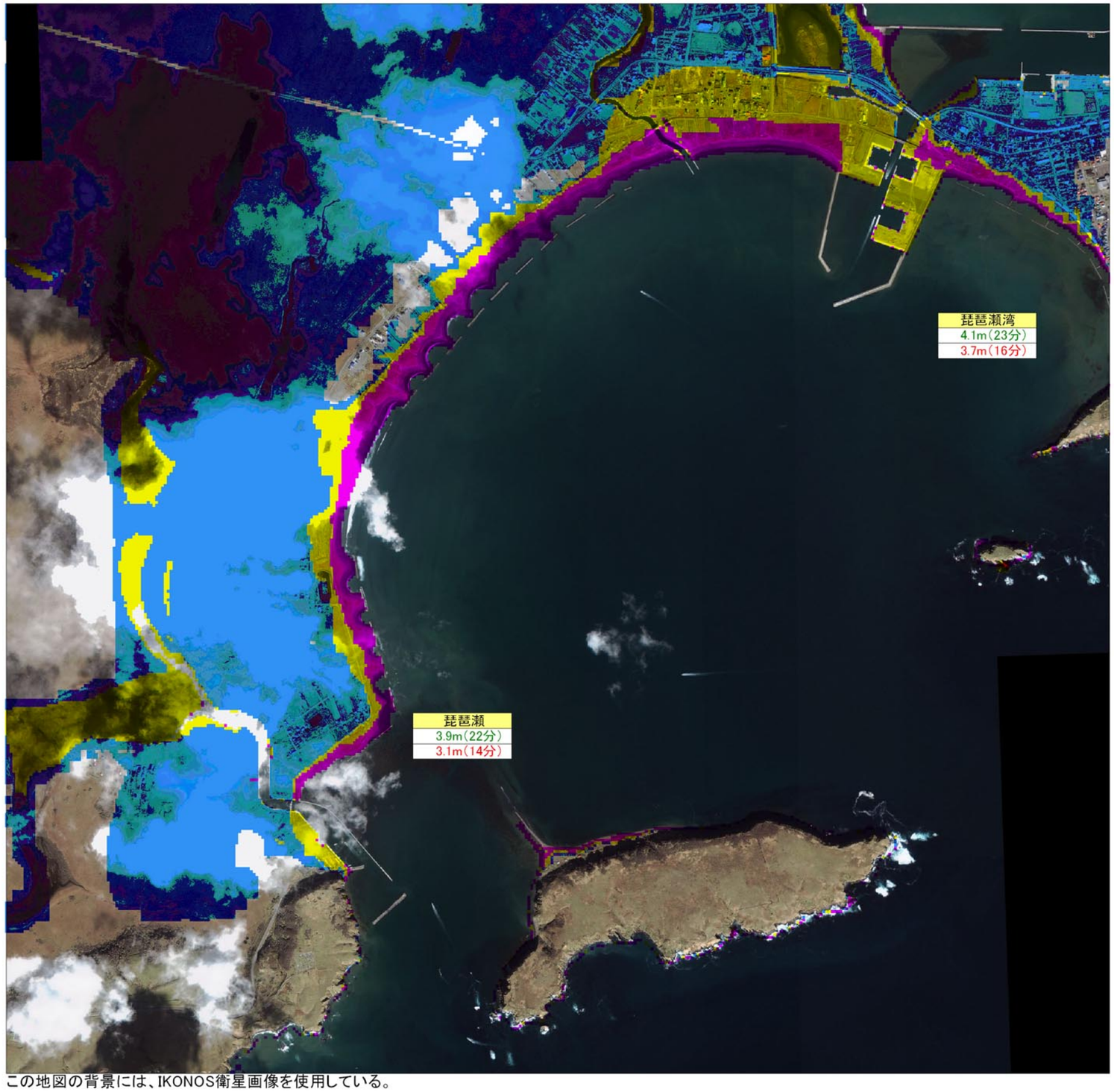


図１



この地図の背景には、IKONOS衛星画像を使用している。

津波浸水予測図 詳細地区別　浜中町 （2／3）

凡　　例

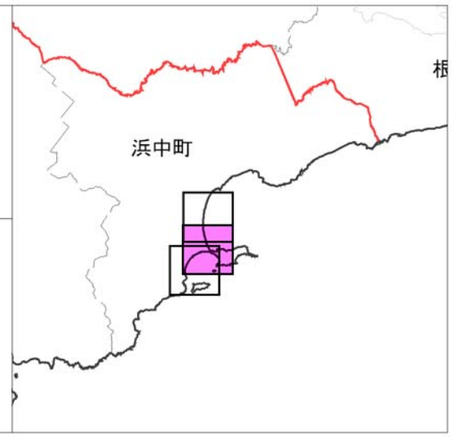
津波浸水予測範囲
（2つの想定津波の最大浸水範囲）

- 1m未満
- 1m以上　2.0m未満
- 2m以上

N
S

縮尺　1　：　20,000

0　100　200　400　600　800　1000m



各地で予測される最大遡上高・影響開始時間

地　区　名
十勝沖・釧路沖の地震津波の最大遡上高（影響開始時間）
根室沖・釧路沖の地震津波の最大遡上高（影響開始時間）

■下記の2つの津波を想定津波とし、それぞれの津波ごとに、構造物が
　「効果あり」・「効果なし」の2パターンのシミュレーションを行ないました。（全4ケース）
■この図には、全4ケースのうち、最大の浸水範囲、浸水深（注１）を表示しています。
■また2つの想定津波ごとに、代表する地点周辺の最大遡上高（注１）と
　影響開始時間（注２）を表示しています。
■地震の震源が想定より陸地に近かったり、想定を超える津波が来襲するなど、
　条件が異なる場合には、ここで示した時間より早く津波が来襲したり、
　遡上高が高くなったり、浸水範囲以外でも浸水する可能性があります。

［シミュレーション条件］
（１）想定津波
　　十勝沖・釧路沖の地震津波　　根室沖・釧路沖の地震津波
（２）構造物
　効果あり　：　防波堤、海岸堤防、防潮堤、河川堤防などの施設が、
　　全て有効に機能したケース。
　効果なし　：　防波堤、海岸堤防、防潮堤、河川堤防など
　　施設の機能が失われたと想定したケース。
（３）潮　　位　：　朔望平均満潮位　（各月の最高満潮面を平均した潮位）

※注１　最大遡上高と浸水深（図１参照）
　最大遡上高は、各地区で津波が到達する最高の標高とします。
　浸水深は、各地の地表面からの水面の高さです。
※注２　影響開始時間と津波到達時間（図２参照）
　影響開始時間は、地震発生から、海岸・海中の人命に影響が出る恐れのある津波による水位変化（初期水位から水位変化が±20cm）が生じるまでの時間です。
　津波到達時間は、地震発生から、津波第一波のピークが海岸に到達するまでの時間です。

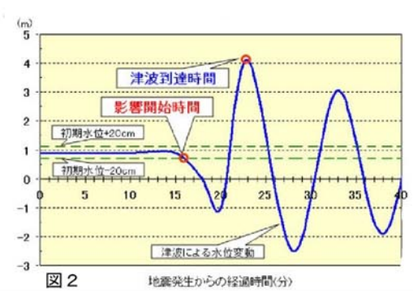


図２

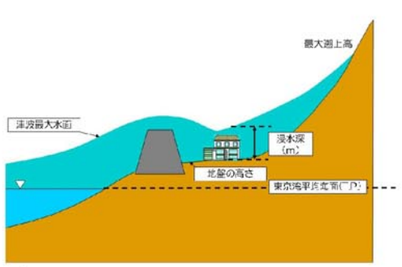
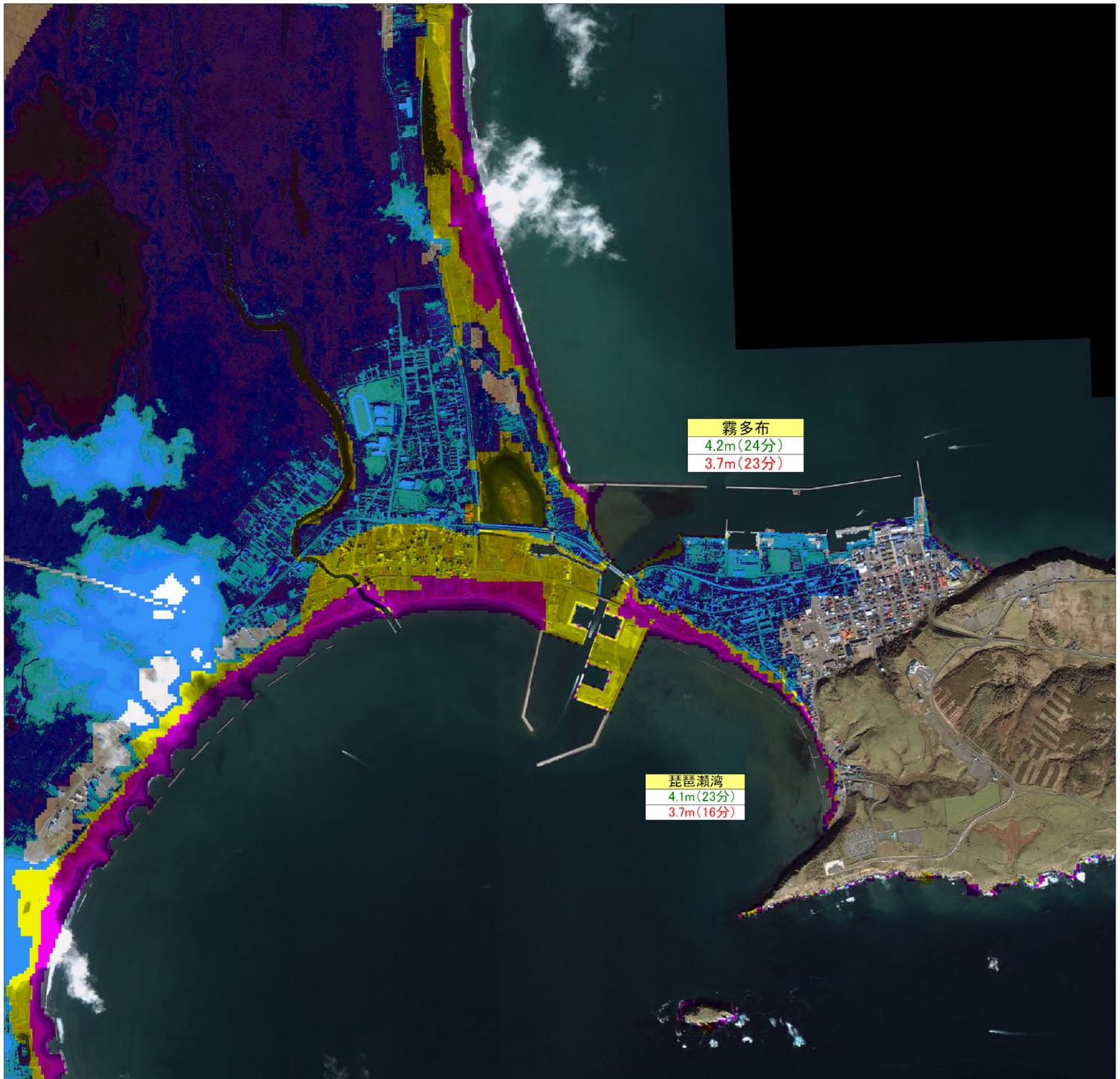


図１



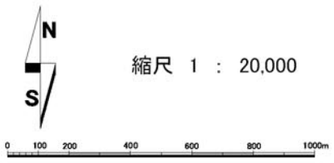
この地図の背景には、IKONOS衛星画像を使用している。

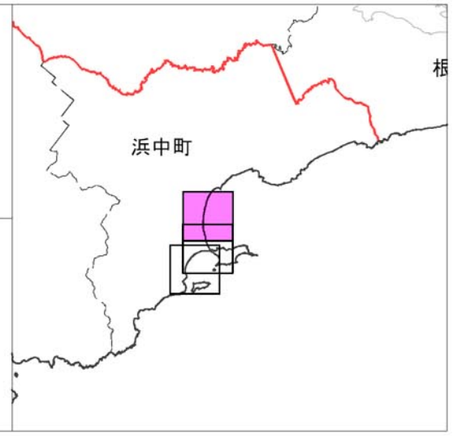
津波浸水予測図 詳細地区別　浜中町 （3／3）

凡　　例

津波浸水予測範囲
（2つの想定津波の最大浸水範囲）

- 1m未満
- 1m以上　2.0m未満
- 2m以上





各地で予測される最大遡上高・影響開始時間

地　区　名
十勝沖・釧路沖の地震津波の最大遡上高（影響開始時間）
根室沖・釧路沖の地震津波の最大遡上高（影響開始時間）

■下記の2つの津波を想定津波とし、それぞれの津波ごとに、構造物が
「効果あり」・「効果なし」の2パターンのシミュレーションを行ないました。（全4ケース）
■この図には、全4ケースのうち、最大の浸水範囲、浸水深(注１)を表示しています。
■また2つの想定津波ごとに、代表する地点周辺の最大遡上高（注１）と
影響開始時間（注２）を表示しています。
■地震の震源が想定より陸地に近かったり、想定を超える津波が来襲するなど、
条件が異なる場合には、ここで示した時間より早く津波が来襲したり、
遡上高が高くなったり、浸水範囲以外でも浸水する可能性があります。

［シミュレーション条件］
（１）想定津波
　　十勝沖・釧路沖の地震津波　　根室沖・釧路沖の地震津波
（２）構造物
　　効果あり　：　防波堤、海岸堤防、防潮堤、河川堤防などの施設が、
　　全て有効に機能したケース。
　　効果なし　：　防波堤、海岸堤防、防潮堤、河川堤防など
　　施設の機能が失われたと想定したケース。
（３）潮　　位　：　朔望平均満潮位　（各月の最高満潮面を平均した潮位）

※注１　最大遡上高と浸水深（図１参照）
最大遡上高は、各地区で津波が到達する最高の標高とします。
浸水深は、各地の地表面からの水面の高さです。
※注２　影響開始時間と津波到達時間（図２参照）
影響開始時間は、地震発生から、海岸・海中の人命に影響が出る恐れのある津波による水位変化
(初期水位から水位変化が±20cm)が生じるまでの時間です。
津波到達時間は、地震発生から、津波第一波のピークが海岸に到達するまでの時間です。

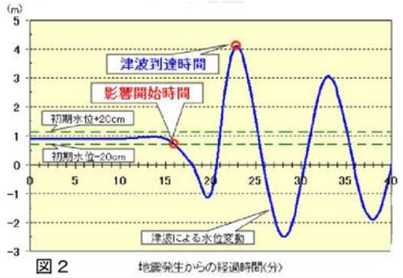


図２

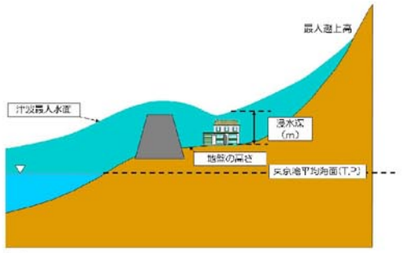
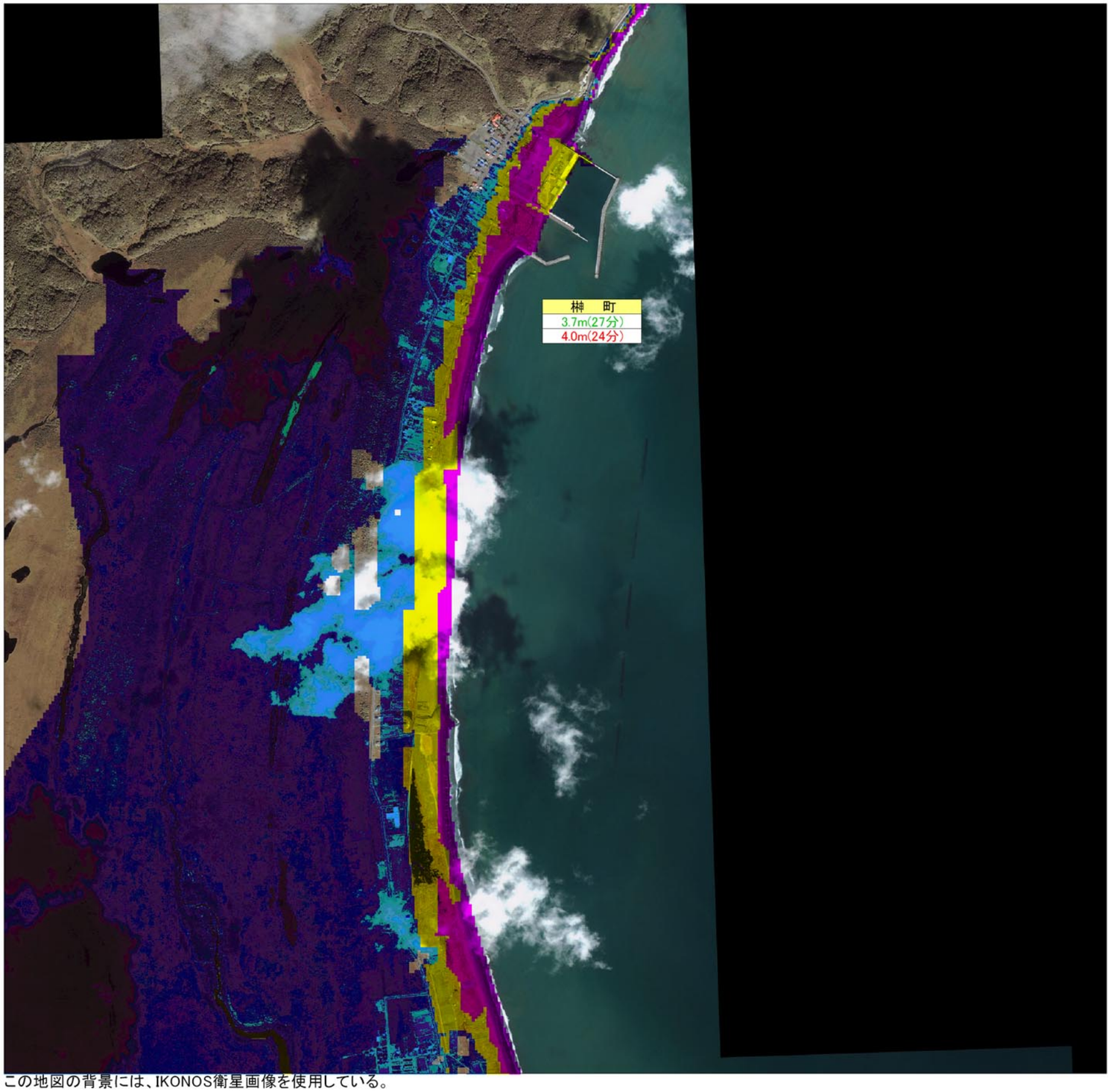


図１



この地図の背景には、IKONOS衛星画像を使用している。